

令和6年度 第3回名古屋市日中サービス支援型グループホーム運営評価会議  
評価結果（令和6年10月18日開催）

（事前評価）

法人名称	ミナノワ株式会社
事業所名称	クライスハイム名古屋廿軒家事業所
事業所所在地	名古屋市守山区廿軒家 827
評価結果	<p>下記の内容に留意し、適切な事業運営を実施されたい。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・法人本部の組織運営管理と現場事業管理の構造が理解しづらい。事業を拡大する中で、現場で働くグループホーム職員と、法人本部職員との間の意思疎通が十分図られるか危惧される。 法人本部の職員が現場で起きていることをよく把握し、グループホーム職員は法人本部の理念や運営方針を理解できるよう、組織運営と現場管理を一体的に行うよう努めること。 あわせて、法人本部が現場で起こる事象に対して責任ある対応ができるよう体制を構築すること。</li><li>・法人内で虐待に関する研修を実施はしているものの、利用者がどのような権利を持っているのか、について学べる内容が不足している。利用者の権利についての理解がないと、不適切な支援が見落とされる可能性がある。実際の現場で支援者一人ひとりが利用者の立場に寄り添った対応ができるよう、研修内容の充実を図ること。</li><li>・守山区の社会資源をはじめ、地域のニーズを把握しているとは言い難く、まずは地域ニーズを知る必要がある。グループホームの役割は、重度の方を受け入れる他、緊急時の受入対応や一人暮らしに向けての体験の機会の提供等、求められる役割は多い。特に日中サービス支援型グループホームは、高齢、重度の障害者の方を対象としていくため、より専門性が求められる。区自立支援連絡協議会へ参加や区障害者基幹相談支援センターとも連携し地域のニーズを事業開始前から把握した上で事業運営を開始すること。</li><li>・名古屋市の障害福祉の状況、方向性及び医療体制に関する理解を深め、十分に理解した上で事業運営を行うこと。</li><li>・事業所として受け入れる利用者像について、想定できているとは言い難い。例えば、身体障害の方でも、状態に応じて食事や入浴支援の方法が変わり、医療的ケアが必要な場合もある。一人一人に応じた支援が求められるため、事業所として受け入れる利用者像を明確にし、しっかりと事前に体制を整</li></ul>

えた上で利用者の受入を進めること。

- 事業を拡大する中で、人材確保・定着への取組みが課題と感  
じられる。虐待防止研修等について、中途採用者への研修を  
充実させる等、グループホームの職員全体で支援力を向上さ  
せ、職員も安心して働くことができるよう、研修の実施体制  
を見直すこと。
- 入居後に個別の状態に合わせてサービス提供を行うというこ  
とではあったが、利用者の受け入れを適切に行う観点から  
も、その利用者を受け入れていくか、受け入れ可能な利用者  
像とその方たちの障害特性に合わせた日中支援プログラム  
を準備して、入居後に適切なサービス提供ができる体制を整  
えること。
- 日中サービス支援型グループホームは、地域生活支援の中核  
的な役割を担うという認識を持ち、今後事業運営をするにあ  
たっては、地域でどのような役割を果たすのか再度事業所内  
で具体案を検討し、明確にすること。
- 虐待通報マニュアル等、定型的な書類を整えているものの、  
実際事案が発生した際に即したものではないため、名古屋市  
で事案が発生した場合についてのマニュアルを、地域実情を  
理解した上で早急に作成すること。

あわせて、虐待防止フローチャートについて、現場で働く  
職員が見て分かりやすいものにするよう見直しを検討するこ  
と。